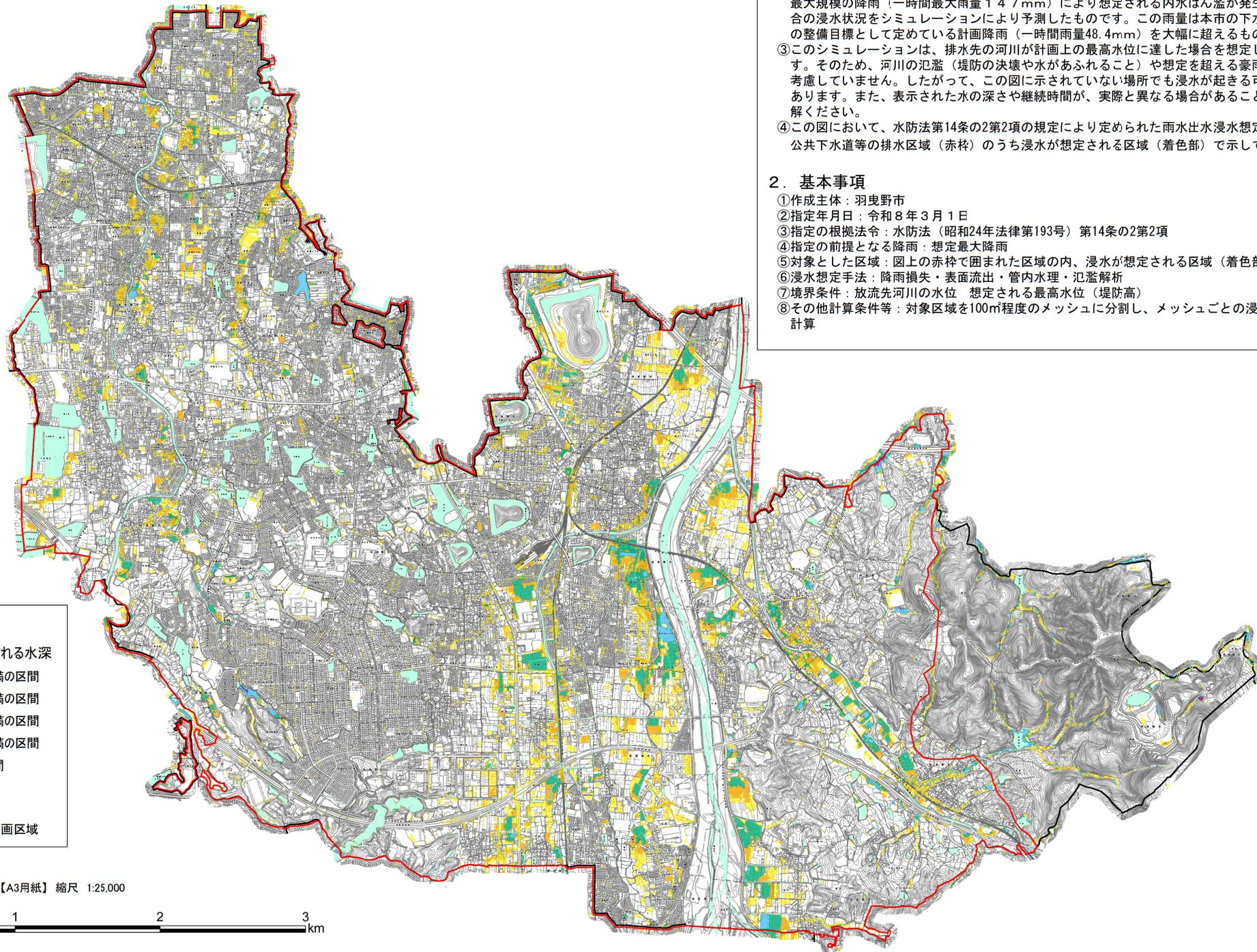


羽曳野市 雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨 時間最大雨量147.0mm)



- ### 凡例
- 浸水した場合に予想される水深
- 0.1 ~ 0.3m 未満の区間
 - 0.3 ~ 0.5m 未満の区間
 - 0.5 ~ 1.0m 未満の区間
 - 1.0 ~ 3.0m 未満の区間
 - 3.0m 以上の区間
 - 都道府県界
 - 市町村界
 - 公共下水道の計画区域

1. 説明文

- この図は、水防法に基づき想定される最大規模の降雨（おおむね1000年に一度の確率）による浸水範囲と、その水深を表した図面です。
- この図は、羽曳野市の下水道の整備状況（令和6年3月末時点）を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（一時間最大雨量147mm）により想定される内水はん濫が発生した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。この雨量は本市の下水道施設の整備目標として定めている計画降雨（一時間雨量48.4mm）を大幅に超えるものです。
- このシミュレーションは、排水先の河川が計画上の最高水位に達した場合を想定しています。そのため、河川の氾濫（堤防の決壊や水があふれること）や想定を超える豪雨などは考慮していません。したがって、この図に示されていない場所でも浸水が起きる可能性があります。また、表示された水の深さや継続時間が、実際と異なる場合があることをご理解ください。
- この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

2. 基本事項

- 作成主体：羽曳野市
- 指定年月日：令和8年3月1日
- 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- 指定の前提となる降雨：想定最大降雨
- 対象とした区域：図上の赤枠で囲まれた区域の内、浸水が想定される区域（着色部）
- 浸水想定手法：降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析
- 境界条件：放流先河川の水位 想定される最高水位（堤防高）
- その他計算条件等：対象区域を100m程度のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

【A1用紙】縮尺 1:12,500, 【A3用紙】縮尺 1:25,000

